



(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番二十一号

中絶に反対する意見を述べたり行動してみよう。すぐに「一つの問題にこだわる」「人間と呼ばれるようになるだろう。」

この表現が何を意味するのは明確ではない。確かに生命保護派の人達は中絶以外の他の「問題」も存在することを知っているし、彼らは至る所で他の様々な問題に実際に積極的に取り組んでいるのである。

しかし、厳密に言って、なぜ「他の問題」が存在し、命より先に何が重要だというのだろうか。他の様々な問題が存在するのは人々が存在するからに他ならない。もし人間が存在しなければ、何の問題も生じないだろうし議論する相手もないのだ。つまり、肝心かなめなのは命である。いかなる問題も重要となりうるのは、命が大切だからである。

私達はどうして失業について悩まなければならないのだろうか。それは人々には生計を立てる権利があるからである。ではなぜ生計を立てる権利があるのか。それは生きる権利があるからである！

どうして貧困がそれほど重要視されるのだろうか。それは人々には衣食住の権利があるからだ。ではなぜこれらの権利があるのか。やはり生きる権利があるからなのだ！
すべて行き着くところは命である。

一つの問題にこだわる人

だからこそ中絶問題がキーとなるのである。生きる権利を否定すれば、他のいかなる問題も重要性を削り落とすことになる。

多くの人にとって、中絶が大した問題でないとこの事実が「たった一つの問題」という誤解を招いている。しかし、子どもや母親に課された傷をさらに侮辱するようなものである。(子どもにとっては致命的な傷だ。)

「どうしてすでに生まれてきている子どもの世話をしないのか。」と質問された。私達の答えは「一つである。」として最初から区別をしようとするのですか。私達は、生まれてきた子どもたちとの不公平な区別をなくすため、できるだけおなかの中にいる子どもを話すようにしているのです。おなかの中にいる子どもだって生まれて来た子どもと同じ権利を持っています。私達はその権利が同じように尊重されることを要求しているのです。」

生命保護派の人達が生まれてきた子どもに対する心配をしないと言っているのは、刑務所の教戒師が自由の身である人のことを気にかけていないとか、盲目の人を助けるヘルパーたちが目の見える人を気にもかけない、というのと同じである。

おなかの中にいる子どもは最も助けを必要としているはずだ。一日に

四千四百件という割合で、しかも定められた時間と場所において多くの冷淡な人々に伴われていかにも合法だというふうに見せかける殺人が他にあるだろうか。これらの死は事故などではない。政府によって「認可」されているのである。これほどの生命の不名誉に関わる問題が他にあるだろうか。あるいはこれほどまでに自己防衛を許されない人々がいるだろうか。

もし明日にも母親の言いなりで十四歳の子どもを死に追いやる事ができるという政策が発表されたらどうなるだろうか。その政策は果たして日没まで持つだろうか。人々は皆立ち上がって反乱を起こすに違いない。そこで政策を発表した人が「わかった。悪かった。ひどい政策であった。年齢を七才戻すことにしよう。母親の言いなりで死亡させることができるのは七歳児のみである。」と断ったとしよう。」

その政策には何か違いがあるのだろうか。状況が良くなるのだろうか。状況が良くなるというのだろうか。すると今度は「そうかそうか。また誤ってしまった。今度は更に七歳引き下げることしよう。子宮にいる子どもたちは母親の思い通りに抹殺することができ。」

最初の二つは途方もない空想であるが、今問題になっているのは現実についてである。キーとなる質問は：この政策には何か違いがあるのだろうか、少しでも改善されているのだろうか、というところである。とんでもない！でも悲鳴が聞こえないのは

なぜ？どうして叫び声をあげる人は「たった一つの問題にこだわっている」と非難されなければならないのだろうか。七歳児を殺すよりも中絶の方が道義上ましであるなどという嘘を少しでも信じてしまえるのだろうか。もし七歳児が合法的に殺害されたとしたら、それに意義を唱える人を「一つの問題にこだわる」人と呼べるだろうか。

生命保護派の人々の信心深い行動のおかげで中絶から救われた子どもは大勢いる。そのような子どもたち、中絶から守られたことを、たった一つの問題」と思えるかどうか尋ねてみたらなんと答えるだろうか。「ノー」である。彼ら一人一人にとって中絶は存在する問題すべてなのである。命そのものだから。私たちが断つてもその子どもと子どもに命に触れるすべてが問題なのである。子どもは生きている。問題は子どもたちの必要としているもの、慈悲使命、相互作用、そして世界への貢献なのだ！問題は神自身の生きたイメージに他ならないのである。

最後に残るのはたった一つの問題だけなのだ。それは命である。そしてついに守られ、容認された命は愛情というたった一つの問題と全く同一のものなのである。

フランク・パワース

悪しき ポルノグラフィ

ポルノグラフィ(性欲を刺激することを目的とした著作物や写真などの媒体)は、多くの人々にとって、中毒的な妄想となつてしまつています。しかしながら、これは神に対する罪であり、また身体に対する罪でもありません。そして、姦通と私通を容認し広めるものでもあるのです。

神は、夫妻間の愛を表すためにセックスを定めたのです。だが創造のはじめから(神は)人間を男と女につくられた。ゆえに人は父母を離れて(妻と合い)、二人は一体となるのであつて、もう二人ではなく一体である。人は神が合わせられたものを離してはならぬ(マルコによる福音書、第10章6-9節)。欽定訳聖書にも、「人を離れ離れにしてはいけない」と記されています。夫婦を離れさせるいかなることもしてはならないのです。

しかしながら、悪しきポルノグラフィは夫婦を引き離し、家庭を破壊し、人類が造られた目的そのものに挑んでいます。ポルノ映画には愛など全くありません。人間のつながりなど

見ることはできません。彼らは互いに汚い言葉で話し、敬意も尊厳もありません。

ほとんどの国ではポルノ媒体に対する何かしらの法律が存在しています。しかしながら、ドイツやアメリカ合衆国の主要都市では、その広まりを法律で規制しているのにも関わらず、ポルノ媒体は容易に入手・利用可能なのです。

アメリカ合衆国では、その憲法で言論の自由が明文化されており、公然とポルノ媒体を規制することは実質的に不可能なのです。議会と連邦情報委員会(Federal Communications Commission)は、テレビ放送の内容がどうあるべきか管理してきています。当然、猥褻な放送に対しても徹底的に規制してきましたが、いまだにゴールデンアワーにですら、攻撃的な放送内容が流され続けています。さらに、ケーブルテレビの場合、購入・取り付けが必須であるため、公共のメディアとは見られておらず、何百万という人々を対象に、多数の猥褻媒体を流しているのです。

子どもを使ったポルノグラ

フィーを重罪とし、多額の罰金刑あるいは禁固刑を処するといふ法律を各国政府が定めているのにも関わらず、ポルノ産業は、一九七〇年代半ばから数百万ドルもの国際市場になっていきます。

『ニューヨーク州における児童ポルノの現状』という記事によると、二歳の幼児までもがポルノ媒体に使われているということです。「犠牲になった子どもたちは、肉体的な傷を負うのに加え、近親相姦の犠牲者と同じような心理的な傷を負うことがあります。例えば、深い罪の意識を持つたり、うつ病になったり、その他心理的原因によって肉体的に障害を負つたりします。こういう子どもたちの中の何人かは、いずれ麻薬を乱用したり、売春行為に走るようになりかねないのです。また、こういう子どもたちは、成長して大人になったときに児童虐待を行うようになる傾向があります。その虐待の対象が恐らくは自分自身の子どもになり、その子どもも同じような道を歩むことになってしまふのです。」

このような猥褻なポルノ媒体

のお得意様はもちろん男達です。当然、女性や子どもはポルノ媒体の犠牲になっていきます。しかし、極端に露骨なポルノ媒体では、男達もその犠牲になりかねません。

自分の義理の娘に性的な嫌がらせをした罪で、現在九年間の刑に服している元大学教授がいます。その人がこう述べています。「ポルノ媒体は、女性をどう扱つべきか、あるいは性的な事柄にどう対処すべきか、ということに対する私の感覚を狂わせてしまいました。ポルノ媒体のせいで、私は若い頃から、女性を明らかに誤つた見方で見るようになりました。私の接してきたこれらの媒体には、女性を思いやりがあり、感じ、考える者として表現しているものは一つもありませんでした。どれも女性を単純な性の対象としてしか描写していませんでした。」

このポルノグラフィの影響の深刻さを、人々に悟らせるためには何が必要なのでしょう。この悪はあなたのすぐ近くに、もしかしたらあなたのお隣さんにすでに存在しているかもしれませんが、最近私はある一人の男性のことを知りました。その男性は、自分の娘に、今まで内緒でストリップパーとして働いていたことを知らされたのです。その父親はショックを受けると同時

に困惑しました。その娘は、ストリップパーとして働くことでたくさんのお金を稼いでいると父親に言いました。さらに、父親が好もうが好まざるが、この仕事を少なくともあと二、三年は続けるつもりだと言つたのです。

今述べたのは家族という単位が崩壊した一つの例です。魅力的な女性は特に性的に利用され易いのです。お金が手に入り、自分が注目される環境は、家庭環境で余りいい想いをしてこなかった人達には特に魅力的に見えるのです。この時代、若い人達は様々な形態の性の墮落に直面させられています。それゆえ、彼らは餌食になり易いのです。

ポルノグラフィに対して私達ができること

私達は神を信じ、そして祈りを捧げなくてはなりません。なぜなら、神は聖書の中でこう約束しているからです。「人は、まくものを収穫するからである。」(ガラタイア人への手紙、第6章7節)。猥褻なポルノ媒体を広めている人達は、うまく逃れているように見えますが、でも実際にはそうでないのです。

「あなたの子どもがコンピューターで何をやっているか注意していないさい」と自由の警告(Freedom's Alert)は言っています。

またもや発見された喫煙による二つの影響

商用パソコンネットに加入する時は、猥褻な媒体を規制するネットに入るようにしましょう。いくつかのパソコンネットサーバーは、あからさまな性的な媒体を禁じたり、メッセージや言葉のやり取りを監視し、下品で猥褻な言葉を禁止しています。そして、その規則を侵したユーザーは切り離されるようになっていきます。もしあなたの子どもの通っている学校がインターネットにつながっているならば、学校から猥褻な媒体にアクセスできないように学校側が対処しているかどうか確認してみましょう。もし対処していないようでしたら、そうすることを勧めましょう。

元FBI捜査官で、猥褻物犯罪の専門家であるビル・ケリーがこう言っています。「一番の問題は一般大衆の無関心さです。『愛』の反対は『憎しみ』ではなく『無関心』なのです。成果を得るためには次の五つのステップが必要です：人間、祈り、警察、実行、そして忍耐」。これらを使い、最後には我々が勝ちましょう！」

ビルはこう力説しています。「公共の道徳のために頑張ってください！無関心のためにこの悪に対する闘いに負けてはいけません！」
ライタータミアン

A. 一九九二年八月五日発行の「シンシナティ・エンクアイアラー」に、ある小児科学の研究が掲載された。同研究によると、たばこの煙に汚染されていると思われる小児の中耳炎にかかる回数が増加しており、回復期間も長引く傾向にあるという。

1. たばこの煙に汚染されていることを示しているリンパ液内のニコチン濃度が高い87名の小児はニコチン濃度の低い45名の小児に比べると生後三年間に中耳炎にかかる確率が38%も高い。
2. 汚染度の高い小児の中耳炎の平均回復期間が28日間であるのに対して、汚染度の低い小児の回復期間は19日間である。

「たばこの煙に汚染されている子どもが感染から回復しにくいという実に注目すべき結果です。」と研究者のナンシー・ハーレイは語っている。研究者らは、たばこの煙が呼吸器官内の細胞や粘液の動きを減退させ、おそらく耳官や中耳も同じ影響を受けているとの理論を展開している。

B. 母親の喫煙回数と子どもの生活態度に見受けられる問題は比例している、とカリフォルニア大学の研究者らが述べている。(一九九二年九月四日発行「デュルス・ニューズトリビューン」紙掲載)
喫煙習慣のない母親の子どもにも

比べ、少なくとも一日一箱たばこを吸う母親の子どもは落ち着きがない、反抗的である、他の子どもとよくケンカをするなどの生活態度上の問題が二倍になっている、と同研究者らは小児科学の九月の機関誌に発表している。

同研究者らはまた、妊娠期間中の禁煙だけでは不十分であると述べている。親が一日一箱以下の喫煙者であっても生活態度上の問題は多く見受けられるが、ヘビースモーカーの比ではない。研究者の利用したデータは四才から十一才までの子ども二二五六名の母親を対象とした労働省の調査に基づくものである。

「この関連性の発見は少しも驚くべきものではありません。たばこの煙は毒素だらけですから、そのうちのどの毒素をとっても、子どもの生活態度に悪影響を及ぼすものです。」とカリフォルニア大学の小児科学科の臨床助教授ロレーン・スターン博士は言う。

ミハエル・ワイツマン博士によると、驚くべきことに、誕生時の体重が軽かったり、慢性病があったり、貧困だったり、両親の離婚が子どもに与える悪影響と同じレベルで喫煙は子どもに深刻な問題を引き起こしている。

研究チームの調べでは、妊娠中

および妊娠直後の母親の喫煙が脳の行動や組織に何らかの変化をもたらす、子どもの生活態度に長期的な影響を及ぼしている。

また喫煙は母親の性格にも影響があり、それが間接的に子どもの問題を引き起こしているとも言え、同研究者は発表している。つまり、研究結果によると、喫煙習慣のある母親は子どもの行動に対して忍耐力がなく、子育ては苦痛だということが多いとも言える。

C. 一九九二年三月発行「無排卵症と不妊症」に発表された研究によると、18才より前に喫煙を始め、一日平均一箱たばこを吸う人は無排卵症になる可能性が高く、明らかに関連性があるとしている。

アメリカでは出産可能な年齢の女性の30%が喫煙者である。

研究者らは、国立児童健康人間発達研究所と、国立がん研究所の所員らから構成されたがん・ステロイドホルモン研究会のリーダー・グループのメンバーである。

四七五四名の出産可能な女性の10%が初期無排卵症を経験していることが判断され、二千二百名が排卵抑制状態にあると診断された。初期無排卵症とは、24ヶ月間性交渉を続けていたにもかかわらず、受胎しないことと定義づけられている。

研究者らによると、一日平均一

箱の喫煙は無排卵症(または無精子症)を明らかに促進している。妊娠を望んでいる夫婦は禁煙するよう勧められている。

「現代医療研究第三巻第一二部一九九二年春号」

眞実を教える

障壁に入ったヒビ？

子らはかんらんのひこばえのように、
食卓をとりまく。

主を恐れる者は、
このように祝福される。

詩篇 第二十八章3〜4節

聖書のこの言葉は、神のみに
そう家庭の生む奇跡、興奮、そして
恩恵を表しています。九十年代の
今日の家庭が、もしこのダビド王
の言葉通りであったならば、両親
の離婚により打撃を受ける多くの
子どもや、妊娠し、たった一人でそ
の子を育てなくてはならない若い
女性、また避妊や中絶ができるた
めに婚外のセックスが横行して深
刻な性病や不妊に悩む多くの女性
など、数々の問題が起こることは
ないでしょう。

いきません。彼らを愛し、心から気
づかうことでキリストの愛を^二示す
のです。そして最も大切なのは、常
に人に奉仕し、裁いたり非難する
ことのないよう努めて、神に従い、
証人となるよう神にお願いする
ことです。

ノボト・ジェリー

人生において、神に学び、神を賞
賛すべきことはたくさんあります。
と同時に、困難にあえて挑戦しな
ければならないことも人生にはあ
ります。生命の保護の基準を維持
するために、私達は聖書の眞実を
説き、眞実を伝え、この避妊社会で
失われていく生命を育てる努力を
今以上にすべきです。「責任のな
いセックス」の魔力にとりつかれ
た人を一人でも見捨てるわけには

中絶に関する争いは、言ってみ
れば、道義に関する争いである。中
絶反対の立場は、すべての中絶は
間違っており法律違反であるべき
だ、というものだ。よく言われてい
る中絶賛成の立場は、中絶は時に
は望ましくなくとも、決して間違
いではなく、つまり場合によって
は認められるべきだというもので
ある。

妥協したり、一部の中絶だけ禁
止する法律を提案したりして、中
絶反対派も時には中絶は悪くない
とのめかしたりするが、それで
は自分達の信用をなくし、命とは
常に神聖で守られるべきだと人に
伝える可能性を失ってしまう。

逆に中絶賛成派も、中絶が絶対
間違いではないと認める事は出来
ず、それを認識している。

妥協する事によって、道義にお
ける争いであったものが、どの中
絶が間違っているかという議論に
変わってしまう事を、両方の立場
はわかっているのである。

中絶への単なる規制だけでは中
絶反対派としては受け入れがたい
が、それは賛成派にしても許しが
たい事なのである。中絶への規制
が人間の命を守る法律の基盤とし
て不安定だとしても、もし実施さ
れれば、それは反対派への障壁に

ヒビが入った事にはなるだろう。
障壁に入ったヒビは、一八六一
年に合衆国連邦からの南部十一州
の離脱を起こす程の力があつた。
リンカーンは個人的には奴隷制度
に反対であつたが、大統領に立候
補した時支持した唯一の法的規制
は、奴隷制度はすべての州におよ
んではいけない、というものだ。
た。奴隷制度廃止論者にすればリ
ンカーンの取つた立場にはがつか
りさせられたが、奴隷所有者にし
ても、それを受け入れがたい障壁
のヒビと見たのである。奴隷制度
に規制を与えるという事は、それ
に何か問題があるとしている事に
なる。そしてもし何か問題がある
ならば、規制を与えた政府はやが
てそれを廃止するかもしれないの
だ。

同じ様に、中絶に規制を与える
政府は、最終的にはそれを廃止す
るかもしれないのだ。中絶を制限
する法律には、中絶は絶対禁止と
いう主義までは入つてなくても、
場合によっては認められる、とい
う事を含んでいる。殺される数を
少なくとも減らそうという、この
不完全な法律上の試みは、小心で
あくまでも妥協であり、熱心な中
絶反対派はがっかりするかもしれ
ない。しかしそうしなくても、決し

て、女性の権利」に間違っている事
はないと譲らない賛成派の人達か
ら、全力で戦いが挑まれるのであ
る。こんな不完全な法律は、賞賛に
は値しないかもしれないが、捨て
てしまう事もないのではなからう
か。

ノートルダム大学の法学の教授
のチャールズ・ライス氏(妥協なし
の完全な法による人間の命の保護
の主唱者)は、中絶問題に関して、
場合によっては中絶賛成と思つて
いる人や信念を持つて今は中絶賛
成の立場にいる人達に石を投げる
のは止めようと言っている。例え
我々が彼らのやり方や熱意の欠如
としか見えない面に反感を持つて
も、彼らのする事に信頼を置いて、
いずれの日かもっと強く正しい立
場に立つてくれるだろうと願うべ
きだろう。

もし自分達の努力、目標、やり方
が完璧だというなら、他の人の不
完全さを咎めてもいいだろう。しか
しそうでないなら、キリストの忠告
を留意した方がいい。「何の罪もな
い者が先ず石を投げるがいい。」

中絶の廃止がうまく適応するよ
う、これまでの文化は変わらなけ
ればならない。プロ・ライフ・グ
ループや全キリスト教会による努
力、目標、やり方によって、よりよ
い新しい社会を形作るのだ。我々
が法律の改善を達成したと満足し
たとしても、自分達の生活や教会
を改善しなければ、本当に「命を大
切にする」(中絶反対)の社会を見

る事は出来ないだろう。現在の中絶の文化の様に、社会の一部の支配を法を通して押しつける事に終わってしまふかもしれないのだ。もし逆に、心から人の命を尊び、隣人を愛し、物質的富でなく道徳的愛を持った文化の社会を作るのを我々自身から始められたら、アラム・リンカーンが望んだ「自由の新しい誕生」が見られるかもしれない。

ステイヴ・ダンハム

若い母の祈り

主よ、

私は、よちよち歩きの幼児を連れて家に帰ってきたその日のことを決して忘れたくありません。それまでの日々は長く、そして、時には孤独でした。しかし年月は足早に過ぎ去ります。十才になる我が子が今一才の我が子と同じぐらい小さかったことが、ほんの昨日のように思われます。

私は幼い我が子と今共に過ごしているこの貴重な時を忘れたくありません。私は赤ちゃんの柔らかい頭の匂いや、朝の三時にお乳を求めて胸に小さな口を押しつけてくる感触を忘れたくありません。私はまた汚いおむつや汚いお皿と悪戦苦闘した日々も忘れたくありません。

食料品店で、泣いている私の赤ちゃんを一瞥して、「そんな頃

が過ぎてよかったわ。」というような女性になりたくはありません。その反対の、買物用のカートに体を寄せて、私の赤ちゃんの足の指を優しく撫でて、泣きやまらせて、にっこりと微笑むような女性に私もなりたいたいです。私は、「この時を楽しみなさい。あつという間に過ぎ去って行くものですから。」とか、「かわいなお子さんですね。」と、考えさせるようにささやくような女性になりたいのです。そしてそういったことは、お腹をすかせて疲れた子ども達の真つ只中にいるときに、私が一瞬の間忘れていた事実なのです。

子どもが大きくなって、友達の集まりに行つて自分は他の母親たちと笑つたり、おしゃべりをしたり、ゲームをしたりして過ごしながらも、忙しすぎて自分が楽しむことができず傍観している若い母親のことを忘れてしまつていくような母親にはなりたくありません。赤ちゃんを代わつて抱いてあげると言つてその若い母親に話しかけることを忘れずにいたいです。私は、この会話がこの若い母親がこの一週間で初めて他の女性と交わした初めての大人同志の会話であるかもしれないということをお忘れたくないので。

主よ、一、三人小さな子どもがいれば、家の中がどんなに散ら

かっているかを忘れさせないでください。私は、ふと立ち寄つて、「あなたの家は本当に汚いわね。」と言つような女性にはなりたくありません。私は、お皿一杯の手作りクッキーを持つて立ち寄り、「家のことは気にしないでください。子どもが小さい間は、もっと大切なんですよ。」という女性になりたいのです。

主よ、私が人生のこの時を享受できることに感謝します。四人の幼子という形で私に下さった素晴らしい贈り物に感謝します。子育てで大変な時を切り抜けるように手を貸してください、そして子育ての喜びと素晴らしさをそつと思ひ起させてください。たとえば、よちよち歩きの子のうす汚れた手、赤ちゃんのねつとりとしたキス、でしゃばりの七才の子が私の背中をたたたく手、十才の駆出しのコンピュータのタイミングのいいジョーク等を思い起させて下さい。これらの瞬間をいつもしつかり忘れずにいさせて下さい。

メアリー・ケニヨン

産みの親の方へ

私の孫を産んで下さつたあなたに感謝の言葉も見つかりません。自分自身がまだ少女といえる年齢で、思いがけず妊娠してしまつたあなたには、いろいろ辛いことがありだつたでしょうね。おそらく、ご家族やお友達は、あなたの胎内に宿る小さな命を中絶するようお勧めになつたことと思います。私の孫となつた子どもをこの世に送り出すまでにはさまざまご苦労や悲しみを経験されたことでしょう。養子縁組みエージェントに赤ちゃんを渡された時には辛くもあつたでしょうし、おそらく希望をも託して、わが子をお離しになつたのでしょうね。でも、あなたがどれほど里親の家族に喜びをもたらしてくれたか、ご想像もつかないと思います。

私達夫婦は、この養子として引き取られた孫を、本当の孫と同じくらい、いいえ、実の孫よりも一層かわいがつている程です。両方の孫とも、神様が私達の祈りに応えて下さつた天からの贈り物だからです。あなたが私達に与えてくれた喜びが、二倍となつてあなたに返ることをお祈りします。

この子が歩き始めるのを見たとき、私の事をおばあちゃんと呼んだとき、遊んでいるときの笑い声を聞いたとき、私はきつとあなたを思い出し、あなたの幸せをお祈りするでしょう。

孫のおかげであなたと親しくなれた気がするし、あなたのことを好きになりました。どうもありがとうございます。

愛をこめて。

あなたの子どもの祖母より